

全国青年剣道大会実施要項

1. 期 日 11月10日(土)～11日(日) 午前9時開場
2. 会 場 東京武道館(東京都足立区綾瀬3-20-1) 電話 03-5697-2111
※東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口下車 徒歩5分
3. 主 催 一般財団法人全日本剣道連盟、日本青年団協議会

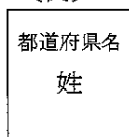
4. チーム編成

- (1) 男子団体…監督1名、選手5名(先鋒、次鋒、中堅、副将、大将)、計6名とする。
- (2) 女子団体…監督1名、選手3名(先鋒、中堅、大将)、計4名とする。
- (3) 団体戦に出場した選手男女は、個人戦にも出場する。
- (4) 男子団体の大将は、30代の者とする。
- (4) 男女団体の監督は選手を兼ねることができる。

5. 出場選手資格および選出方法

- (1) 本大会の参加資格は、下記の通りとする。但し監督はこの限りではない。
- ①昭和58年4月2日以降平成12年4月1日までに出生した者。
 - ②平成30年4月30日以前からひきつづき当該都道府県に居住する者。
 - ③各都道府県剣道連盟に登録した個人会員とする。
 - ④地域で活動する青年を参加対象とする。
 - ⑤大学生の参加を2名以内で認めるが、全日本学生剣道連盟に加盟する者は参加できない。
- (2) 予選会の実施については各都道府県派遣窓口と協議のうえ決定し、日本青年団協議会並びに全日本剣道連盟に参加申込書を提出すること。また、参加にあたっては、所属都道府県選手団の諸規定を厳守し、その運営に協力するとともに他種目の選手とも友好をはかること。
- (3) 参加者は医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者とする。
- (4) 過去において、次にかかげる大会に出場した者は参加できない。
- (ア) 国際大会ならびに全日本選手権大会
 - (イ) 国民体育大会剣道競技
 - (ウ) 全日本都道府県対抗優勝大会
 - (エ) 全国教職員大会
 - (オ) 全国警察官大会
- (5) 出場者は、剣道具の垂中央に黒または紺色に白ぬきで県名(横書き)、姓(縦書き)を明記した布製の名札を必ず着けること。

[例]



- (6) 無資格の選手を発見したときは、団体戦はチーム全員、個人戦は当該選手を失格とする。

6. 出場選手の申込み

平成30年 9月20日(木)までに、参加申込書を全日本剣道連盟に提出し、写しを日本青年団協議会に送付する。

※〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階
全日本剣道連盟 (電話) 03-3234-6271 (FAX) 03-3234-6007

※〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ビル内
日本青年団協議会 (電話) 03-6452-9025 (FAX) 03-6452-9026

7. 試合方法

- (1) 試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則とその細則による。
 - ア. 団体戦、個人戦ともトーナメント方式により行う。
 - イ. 団体戦の試合は、3本勝負とし、試合時間は男子5分、女子3分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い時間を区切らず勝敗が決定するまで行う。ただし、団体戦の勝敗が決定している場合は、以後の延長戦は行わない。
 - ウ. 個人戦の試合は、3本勝負とし、試合時間は男子5分、女子3分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間を区切らず勝敗の決するまで行う。
 - エ. 竹刀の検量は大会当日実施する。竹刀の長さ、重さ、太さは下記の通りとする。

男 子	……長さ120cm以下、重さ510g以上、太さ26mm以上
女 子	……長さ120cm以下、重さ440g以上、太さ25mm以上
- (2) 試合者は胴紐の交差点に主催者側で用意した赤または白の目印を中央から二つ折りにして着けること。
- (3) 試合場に入ることが認められるのは、競技者及び監督のみとする。この場合の服装は、剣道着・袴もしくは各都道府県選手団のユニフォームとする。

8. 試合運営上留意すべき事項

- (1) サポーターなどの使用は、医療上必要と認める場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。
- (2) 面紐の長さは結び目から約40cm以内とする。

9. 表彰

- (1) 団体戦についてはベスト8、個人戦についてはベスト8人まで表彰し、賞状を授与する。但し参加チームが16以下の場合はベスト4までの表彰とする。
- (2) 個人戦1位に賞状・金メダル、2位に賞状・銀メダル、3位に賞状・銅メダルを授与する。
- (3) 団体戦1位チームに賞状・優勝旗・カップ・メダル、2位及び3位チームに賞状・楯・メダルを授与する。

10. 経 費

監督および選手の交通費、宿泊費は各都道府県剣道連盟と各都道府県青年団と協議し決定する。

11. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に出場すること。

主催者において、試合実施中、傷害発生の場合は、医師または看護師により、応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。AEDを常備する。

なお、主催者は大会中の出場選手の事故に対し、傷害保険に加入する。出場選手は、健康保険証を持参のこと。

12. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報は、全日本剣道連盟および日本青年団協議会が本大会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせて公表媒体に公表することがある。

13. 総合開会式

平成30年11月9日（金）午後3時30分～5時

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ビル内 日本青年館ホール

14. 監督会議

平成30年11月9日（金）

場所と時間は後日通知する。

15. その他

(1) 基準要項、体育の部要項に定めるところによる。

(2) 参加者の宿舎は、日本青年団本部が指定した宿泊施設とする。またその決定は、青年団本部が別途行う。各都道府県や出場チームから直接旅館に申し込むことや指定以外の宿舎に宿泊することは認めない。

(3) 記載のない内容については主催者で判断する。

(4) 参加者は、総合開会式（大会前日）に参加し、剣道大会終了後解散とする。